

ニットイングの実践知識

BASIC KNOWLEDGE OF KNIT

消費がますます成熟する中で、商品への選択眼がますます厳しさを増すファッションマーケット。目の肥えた消費者は、『価格』と『商品価値』のバランスをことさら重視しています。このような状況下でも、ニット製品はシーズンを問わず安定的に消費者の支持を受ける人気（売れ筋）アイテムとなっています。また、海外コレクションでも服からグッズに至るまでニットが大きく取り上げられるなどトレンド面からも見逃すことは出来ません。商品企画や商品戦略を計画する上で、ニット製品はますます重要な商品になっています。そこで弊社では、ニットの編機や組織、商品の価格（コスト）や価値を大きく左右する糸（素材）の選定や商品の付加価値やデザイン性を高める編地、シルエットや仕上がりの良さを鍵を握る縫製とパターン、消費者の購買意欲を刺激するものづくりのテクニックまでニットの基本的なことからものづくりにすぐ使える実践的な知識までをアパレル・ニット企業で働く若手社員やデザイナー、MD、営業の方々、流通や通販企業のバイヤー、MDの方々に向け、実際の編地や糸・ゲージ見本と詳細なテキスト及び自らの経験を基に知識豊かなニットのプロがわかりやすく解説する講座を開催致します。

日時：東京／2014年2月25日（火）10:00～18:30

大阪／2014年2月27日（木）10:00～18:30

会場：東京／長井記念館（渋谷区渋谷2-12-15）

大阪／大織健保会館（大阪府中央区瓦町2-6-9）

講師：町筋 ゆり（アトリエ・デュオ株式会社 代表取締役／ニットプランナー）

●受講料：1名 **21,000**円（テキスト・編地・糸・ゲージ見本帳（約75点）・消費税込）

※一社で5名以上参加の場合10%割引します。最少実施人数（30名）に達しない開催を中止する場合があります。

●主催：株式会社ファッションリソースセンター・ファッション情報課

●お申込み：下記の受講申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。

ご予約方法 折り返し、受講票と会場案内図をお送りさせていただきますので、当日会場の受付へご提出下さい。

●お支払い：お手数ですが、請求書到着後1週間以内に下記口座へお振込み下さい。（振込手数料はご負担願います）

方法 一度お振込頂いた受講料は、ご返金致しかねますのでご了承下さい。

三井住友銀行学園前支店（普）3756739（株）ファッションリソースセンター

●お問い合わせ
お申込先

TEL0742(51)3747 FAX0742(51)2339

<http://www.trend-seminar.com>（こちらからも、お申し込みいただけます）

■詳しい内容は、裏面の講座カリキュラムをご覧ください。

-----（キリトリ線）-----

実践知識（ニット）		受講申込書	
会社名		請求書(要・不要)	入金予定日（ 月 日）
住所〒		☎（ ）	FAX（ ）
会場	受講者名	部署・役職名	e-mail
東京・大阪			
東京・大阪			
東京・大阪			
東京・大阪			
東京・大阪			

本お申込みで取得致しました個人情報につきましては、当社は適正に管理し、今後、当社が主催する各セミナーのご案内をさせて頂くことのみを目的として利用させていただきます。尚、ご案内が不要な場合は、当社までFAXにてご連絡をお願い致します。

講座カリキュラム

◎基礎からモノづくりの実践まで、これだけは知っておきたいことを具体的に分かり易く解説

時 間	テ ー マ	内 容
10:00 ～ 18:30 (途中休憩あり)	組 織 と 分 類	『組織』 ・ニットと布帛（織物）、緯編と経編の組織差と特質 『編機による製作分類』 ・主要編機の種類と特徴（横編・丸編・経編） ・成形商品、カット・アンド・リンク商品、カット・アンド・ソーン商品、ホールガーメント
	素 材	『糸の選び方』 『主な糸素材』 ・ラミーとリネン、獣毛、最近の注目素材 ・紡績糸（梳毛と紡毛）、フィラメント糸、意匠糸の種類と特徴（参考編地と写真で解説） 『糸の番手とデニール』 ・設定基準と算出法、換算法、番手の呼称、単糸と双糸
	編成テクニック	『編地の方向』・コースとウェール 『ゲージの呼称と種類』・コースゲージ、ミドルゲージ、ファインゲージ 『ゲージと適合番手』 『針配列』・編成の基本操作 ・針の種類と編目の作り方 ・シングルニードルとダブルニードル 『編目記号と編成記号』
	編 組 織	『編地一覧』 ・編機の針配列別に分類した全編地（自動機用） ・手横機で編める編地、編めない編地 『代表的な横編組織・丸編組織・経編組織』 ・各編地の特性と用途、製品写真 ・ジャカード、インターシャ、組織柄の意匠についての知識 『編地に関する知識』 ・度目、目付け、斜行、カールなど
	縫 製 と パ タ ー ン の 特 徴	『縫製の種類』 ・縫目形式とリンク手法（地縫い用、付属付け用） 『縫製のポイント』 ・細部の縫製方法（代表例） ・異素材の組み合わせ、トリミング、裏地付け 『ニット独特のパターンテクニック』 ・編地の伸びや変形への対処法 『仕様書の作例』 ・成形商品、カット・アンド・リンク商品
ものづくりの 実 践	『実践的なものづくりの知恵』 ・横編商品の製作工程（ポイント） ・ニットならではの編地、パターン、仕上げのコツ 『コストを意識したものづくり』 ・デザイン面（デザインデータの活用、効率の良いデザイン発想） ・テクニック面 （糸、編立て、縫製の無駄を省く方法、ニットの特徴を活かした作り方）	